

東北大学大学院情報科学研究科

(1) シンポジウム開催支援経費実績報告書	
タイトル	IEEE Eighth International Conference on Shape Modeling and Applications (SMI2006)
(2) 主催者	IEEE Computer Society
期 日	平成 18 年 6 月 14 日～6 月 17 日
会 場	松島 ホテル大観荘
出席者数（講師・パネリスト等を除く。）	73 名
講師・パネリスト 等の氏名・勤務先 等	Alla Sheffer (University of British Columbia, Canada) Bruno Levy (INRIA, France) Fujio Yamaguchi (Waseda University, Japan)
(3) 目 的	米国電気電子学会コンピュータ部会が主催する第 8 回目の形状モデリングとその応用に関する国際会議であり、デジタル形状を表現・処理するための新たな計算手法の普及を目的としている。
(4) 内 容	最初の 3 日間は、3 件の招待講演と、厳格な審査により選定された 20 本の長編論文、10 本の短編論文の発表、3 次元形状検索コンテストの結果発表から構成され、その会議録は IEEE CS Press から発刊、すべての論文は IEEE CS Digital Library にも収蔵された。最後の 4 日目は、新たな試みとして、「形状と意味論」という先進的なテーマを採り上げた国際ワークショップを、世界に先駆けて欧州の超国家学術団体 AIM@SHAPE と協力して開催できた。
(5) 情報科学研究科 にとっての意義・貢献度	形状モデリングは、あらゆる情報処理応用に現れる、形状の獲得、処理、検索、理解という一連のプロセスにおいて、横断的に必要となる情報科学の中核的技術である。その研究テーマを取り扱う、主要な国際会議を、仙台地区に誘致し、共催できたこと自身、一つの大きな成果であると考えられる。今後、研究科内の関連する研究への有力なトリガーとなることが期待される。 なお、会議 Webpage は以下の URL から閲覧可能である。 http://www.ifs.tohoku.ac.jp/SMI06/

注 (1) 「シンポジウム開催支援経費」「学際的研究プロジェクト支援経費」より、該当する項目を記載してください。

(2) 当学術企画実施の代表者もしくは責任者及び協力者名を全員記載してください。

(3) 当学術企画を実施した目的を簡潔に記載してください。

(4) 実施された当学術企画の内容を簡潔に記載してください。

(5) 大学院情報科学研究科に対する当学術企画の意義や貢献度を簡潔に記載してください。